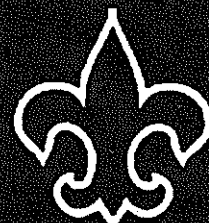


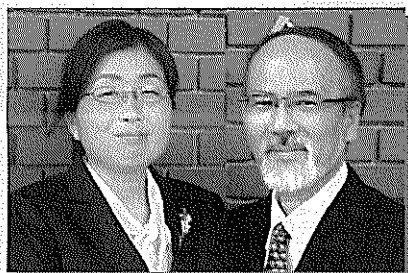
REINANZAKA SCOUT CLUB



霊南坂スカウト交流の場 2008年10月25日号
発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内
〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-3 電話：03-3583-0403

No.35

お気軽に教会をお訪ね下さい 霊南坂教会 主任牧師 押川 幸男



本年4月より霊南坂教会主任牧師として赴任しました押川幸男と申します。

また同時に日本ボーイスカウト東京港一団の育成会長として、スカウト活動に関わることができ、嬉しく思っています。

なお私の妻の沢江も牧師として赴任しました。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

さて、今年度は「みんな仲間だ！ 霊南坂スカウト！」をテーマとして、60周年を記念して、8月にはボーイスカウトとガールスカウトとの合同キャンプが那須野営場で行われ、参加者全員が素晴らしい体験を得た恵まれたキャンプであったとの報告を伺いました。

また9月23日には、スカウトの日として上進式・各隊入隊式も霊南坂教会で行われ、新しい門出を神さまの祝福の中で祝うことができました。

これから10月25日(土)には「霊南坂教会バザー」12月13日の「スカウトクリスマス礼拝」や2月22日の「スカウトサンデー」等の

大事な活動が予定されています。これからもチャーチ・スカウトとしてのスカウト活動を、育成団体としての教会が、出きる限り積極的に支援・育成していきたいと願っています。

なお今年度も杉原・古谷両団委員長を中心として、各団委員の方々、各リーダーと共に、神と人にとり奉仕することのできる青少年の育成を担っていきたく、と願っています。

スカウトクラブのメンバーは、子どもの頃、教会でスカウト活動をやっていた人達で、現在の霊南坂教会のスカウト活動を援助したいという思いで作られた、と伺っています。

教会は自分が育った大切な場所だと思っているOB・OGが1000人以上になるそうです。

どうぞこれからも引き続きスカウト活動を応援して下さることを期待しています。

これからもお気軽に教会をお訪ね下さい。

お待ちしております。

お二人の略歴

押川幸男先生

宮崎県出身

1955年11月16日生まれ

押川沢江(さわえ)先生

大阪市出身

1965年8月21日生まれ

You begin by making other people happy by doing good turns to them. You need not worry about making yourselves happy, so you will very soon find out that comes by itself.

B. P.'s Last Message to

Girl Guides



ベーデンパウエル卿の言葉

まわりの人々に一日一善をして喜んで頂くことからはじめよう、自分が幸せになろうと思わずに。そうすれば、自然と自分が幸せになることに気づくだろう。

BS新リーダー編成

ビーバー隊隊長：増山孝子、副長：西石垣文江、大石邦子 補助者：戸部卓治、カブ隊隊長：斉藤利江、副長：澤井義夫、林田町子副長補：小林資英、インストラクター：小崎敬子、デンリーダー：山口裕章

ボーイ隊隊長：小野俊夫、副長：長谷川幸男、毛受寛貴、千葉広美、副長補：小崎信

ベンチャー隊隊長：城所明利

ローバー隊隊長：小崎公平、副長：鈴木隆一 (育成会だよりから)

靈南坂スカウト60周年 記念合同夏キャンプ

Reinanzaka Scout 60th Anniversary Summer Camp 2008 in Nasu



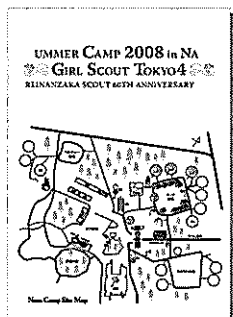
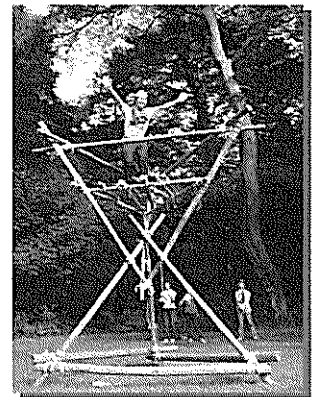
那須高原で靈南坂スカウト延べ130名が集い、日頃の成果を発揮しました

テーマ：みんな仲間だ！ 靈南坂スカウト

日時：2008年8月7日(木)～8月10日(日)

場所：ボーイスカウト日本連盟那須野営場

主催：ボーイスカウト東京港第1団／ガールスカウト東京都第4団



合同キャンプGS版 DVD

内容28分 ¥600

ご購入をご希望の方は、
nakata2007no@gmail.com

GS 中田信子さんまで

撮影：今井幸子・河合純・小崎安子・
光野実江・山崎亜子 編集：中田信子

六本木で味わう沖縄の魅力・古酒と沖縄料理

島唄楽園

SHIMAZU PARADISE

* 今田富士雄・富江の後を継いで道雄・文江兄妹でやっています *

ホームページ <http://homepage1.nifty.com/myers/>

六本木店 東京都港区六本木7-14-10 誠志堂ビル4階

TEL:03-3470-2310 FAX:03-3401-9321

美海店 東京都港区南青山1-15-18 リーラ乃木坂1階

TEL:03-5771-1303 FAX:03-5771-1303

ランチ11:30～14:30(月～金) 島酒タイム17:00～24:00 日・祝休

日本初の万華鏡の店 誠志堂マイヤーズ TEL:03-3401-9291



リーダー 矢島 麻友子

今年のキャンプは創立 60 周年記念として行われたボーイスカウト・ガールスカウト合同キャンプという事もあり、いつものキャンプとは違う経験ができました。

私はブラウニー部門のリーダーとして 2 泊 3 日キャンプに参加しました。

今年、ブラウニーでは初めてティンカンストーブを使って焼肉をしました。ティンカンストーブとは業務用などの大きな缶を使い、穴を開けた中に固形燃料を入れ、その缶の上で肉などを焼くものです。

スカウト達も初めての経験だったため、とても楽しんでいました。

今年の合同キャンプのメインである 60 周年記念の植樹では、ボーイスカウト・ガールスカウト・スカウトクラブと一緒にハナミズキの木とプレートを植えました。

そしてなによりもスカウトたちの記憶に残ったのが、スカウトクラブの方たちが主催して下さったブュッフェだったそうです。

スカウトクラブの方たちのコックの格好がとても印象に残っていたようで、ホテルオークラの人たちが来たと話していました。

私自身もこの合同キャンプで豪華な料理が食べたのは初めてだったので思い出に残る楽しいキャンプになりました。

今回の合同キャンプでボーイスカウトとだけでなく、スカウトクラブと一緒にキャンプを行えた事は創立 60 周年としてふさわしいキャンプになったのではないかと思います。

また 10 年後創立 70 周年として、今回のキャンプ以上のものになるよう私たち若いリーダーが頑張っていかななくてはならないと改めて思いました。



「キャンプでたのしかったこと」 3年 東山みのり

今年のキャンプでたのしかったことは、ティンカンストーブのやき肉です。

なぜなら、やき肉の肉がとても高きゅうだったからです。わたしたちはすごくとくでした。

ほかのくみは 3 人だったけど、わたしたちは 2 人だったからです。

だから、わたしたちはおなかいっぱいやき肉をたべました。

つぎに、みんなでスタンツのれんしゅうをしました。

けむしのげきをやることにしました。

それから、ロッククライミングをすこしだけやりました。

たてものにかえったら、アイスクリームをたべました。

アイスがドロドロでした。ろうかでたべたのがおもしろかったです。

おふろではみんなさわいでおおはしゃぎでした。

つぎに、きねんの木をうえました。ハナミズキの木でした。

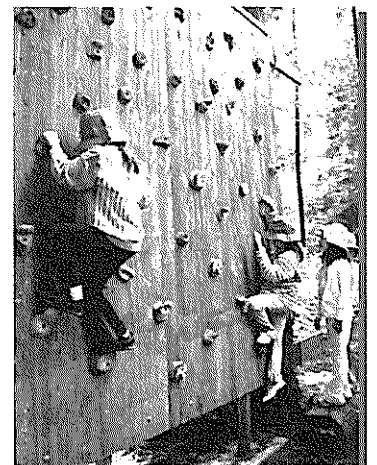
夕食は外でたべました。とてもおいしかったです。

かたづけがおわったら、たのしいキャンプファイヤーでした。

それから、ねるじゅんびをしました。

ものすごくねむかったけど、ぜんぜんねられませんでした。

とてもたのしかったです。

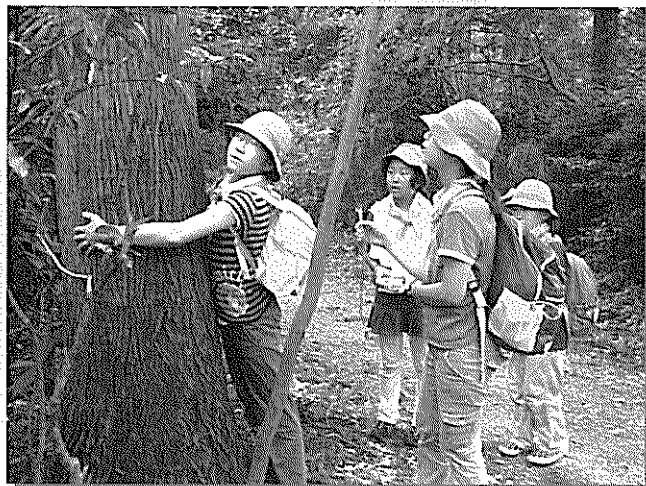




私は那須で行われた、霊南坂スカウト 60 周年記念キャンプに参加しました。

その中で私は、ガールスカウト東京都第4団を代表して、ボーイスカウト港1団の岡部武文君と一緒に木を植えました。この木は、私達がいつも活動をしている霊南坂教会のある港区の木「ハナミズキ」だそうです。とてもきんちょうしましたが、武文君はようち園が一緒だったので落ち着いて出来ました。その日のお夕食は、スカウトクラブの方々が用意してくださいました。毎日、作っては片付けてばかりだったので、とてもうれしかったし、おいしかったです。ありがとうございました。活動の中で一番楽しかったのは、ナイトハイクです。パトロールごとに指令文を読んでゴールを目指しました。初めは暗くてこわかったけれども、パトロールの仲間と助けあっていくうちに、楽しくなりました。

私はこのキャンプに参加をして、とても良い思い出が出来ました。これからもずっとスカウトを続けて行きたいと思います。



今年は 60 周年の BS/GS 合同という特別なキャンプであり、私個人としても、スカウトとして最後の特別なキャンプだった。

4 日間という短い期間で、充実したキャンプを過ごせたと思う。

花火やパイオニアリング、スカウトクラブ主催のピュッフェに参加をしたり、ジンギスカンを食べたりもした。

一つ一つがすごく楽しくて 4 日間はすぐに過ぎてしまった。

反省しなければいけないことも多かったが、今後これからの課題として考えていきたい。そして、来年のキャンプではリーダーとして今年のキャンプでの反省を教訓に、新しい目線でのキャンプに参加出来れば、と思う。今年のキャンプは色々な人にお世話になり感謝しています。

ありがとうございました。

舎営台所チーム奮闘記？

スタッフ BS 小崎、大石、北

GS 押田、梅澤

一番大変な献立も、作り方も、材料の注文書もリーダーや矢島副団委員長がすでに済ませておいてくださったので、それにしがって食事づくりをするだけ、毎日している「おさんどん」の量が多いだけ、80 人分なんか楽勝々と思っていました。でも、BS 林田さん、GS 古谷団委員長のお手伝いなしでは時間内完成は難しかったです。

初めは私たちだけだったので、広い台所は使い放題、食器も炊飯道具も沢山あり、山ほどの洗い物も冷たい水は心地よいご褒美のようでした。

スカウトクラブがパーティに使うオープンも挽肉 4 キロの特大ハンバーグを焼いて試運転。できあがりはグー。

三枘屋さんから大量の食材と野営チームの部門わけされた食材の箱々々が運び込まれ、これを毎日注文表と照合、食材保管作業だけでも数の多さにトホホ。

びっくりするほどの暑さと湿気の多さで作っても、作っても麦茶が無くなり、野営チームから気分の悪くなったスカウトをクーラーの効く部屋に一時避難の受け入れ。

少々汚れの気になるお風呂場とトイレの清掃をやっちゃえ。スッキリしたと自画自賛。

仕事は沢山だけど、みなさんの「美味しい、ご馳走様」の笑顔に疲れは飛びました。

皆で力を合わせることの楽しさを改めて感じました。

(文責—梅澤)

115名の仲間が集いました BS隊長 小野俊夫

発団60周年記念合同キャンプを2008年8月6日～10日までボーイスカウト日本連盟那須野営場で行いました。

合同キャンプのメインテーマ「みんな仲間だ! 霊南坂スカウト」の通りボーイスカウト、ガールスカウト、総勢115名の仲間が集いました。

合同のプログラムは、記念植樹、キャンプファイヤー、日曜礼拝を行いました。

植樹(はなみずき=港区の花)はカブ広場の「なすの湖」脇に植え、終了後にスカウトクラブの皆様のご協力でご記念ディナーを全員で仲良く味わうことができ、スカウト達も大喜び、お腹もいっぱいになりました。

キャンプファイヤーは自分たちの持っているものを充分に発揮して、とても盛り上がりました。

最終日の礼拝は佐原牧師のもと、「野営場野鳥の森」で鳥の声や風の音を聞きながら先生のお話を聞くことができ、静かな時間が持てました。

期間中は天候にも恵まれ、計画したプログラムを全て事故もなく無事にでき、楽しいキャンプができたと思います。

OB/OGだからできる素晴らしさ! BS副団委員長 内藤正樹

美味しい夕食パーティをしていた
だき、ありがとうございました。総
勢120名を越す食事を作ることで
大変なところ、余るほど豊富に多
くのメニューを提供していただき、
スカウト達も大満足していました。

キャンプでこのような豪華な夕食
を取れることはスカウト達にとって
初めての経験でした。カブ隊のある
スカウトがこのパーティ後、キャンプ
ファイヤーの準備に取り掛かった
とき、「今日の夕食は何時なの?」と
質問をしてきました。

キャンプの夕食はみんなで食堂に
集まり食べるのが通常であり、午
後4時から始まった野外パーティ
は夕食でなく、少し遅目のおやつ
だと思っただけでした。

それほどキャンプでは味わえない
ような豪華さ、豊かなメニューで
キャンプの食事だとは思えなかつ
たのでした。

また、同じ場所でキャンプをして

いた千葉の鎌ヶ谷BS隊リーダーが
「港1団は凄く活発な集団ですね」
と寮長に話していました。

寮長は、港1団は創立60年経過
しているから現役スカウトよりも
OB,OGの方が多いため、できる
のだよと答えていました。

しかし鎌ヶ谷のリーダーは我々も
35周年を迎えようとしているが、

キャンプに参加して BS副団委員長 柳健一

「何年経ったのだろう?」ビーバー達が飛び跳ねる
カブスカウト広場に佇みながら、ふと想いに耽って
いました。

那須の野営場の木々のなんと太く高くなったこと
か!それに比べて、周囲の畑がすっかり街になり、そ
こが緑の小島のように、時の隔たりを感じさせられ
ました。

61年間、霊南坂スカウトが皆様に支えられ都会の
真ん中でしっかりと受け継がれている様を見て、改
めてスカウト運動が時を越えて認識されていること
に嬉しくまた誇りを感じました。

記念植樹の後、スカウトクラブの6人の名コックが
供するご馳走を参加者全員と頂きました。芝生の上
には笑顔が弾けて、それは楽しいひと時になりました。
スカウトであることの楽しさを胃袋で感じ、皆に確
りと記憶される事となったでしょう。

誰よりも6人が一番楽しそうでしたよ!

OBはすでにバラバラで集めるこ
とはできない状態です。このような
団は特別な団だといえますねと話
していました。

我々はその中に浸かっているため、
何も不思議さは感じられませんが、
「歴史を守り、人の繋がりを大切に
していること」は素晴らしいことな
のだと再認識しました。

これからも現役スカウトへの支援
をよろしく願いいたします。

印刷業者卸し専門店・一般のお客様も大歓迎

チラシ
ポスター
カタログ
リーフレット
パンフレット
名刺
DM
その他広告&
販売促進ツール
デザイン・印刷
企画・デザイン・印刷総合

有限会社 セブンス

〒106-0044 東京都港区東麻布2-3-6-2F



CALL 03-3583-0877

FAX 03-3589-5181

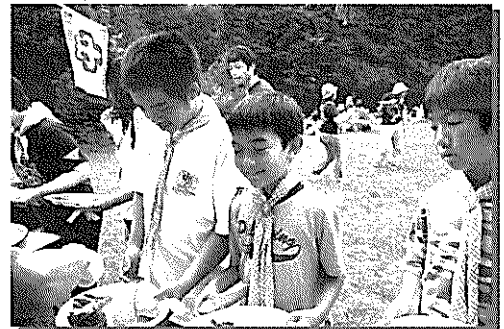
Mail info@7sense.co.jp

合同キャンプに夕食サービスツアー スカウトクラブ

合同キャンプの最終日の前夜、スカウトクラブも参加してスカウト達に美味しいものを食べさせようと・・・メニューを考え、リーダーの協力を得て実施しました。終了後キャンプファイヤーに参加して帰京しました。



メニュー
 お好みによりウイナーソーセージ・バーベキューポークのサンドイッチ（ロールパン・クロワッサン・フランスパン）
 現地のフレッシュトマトとチーズ、サラミたっぷりのピザパイ
 現地調達フレッシュポテトサラダと人参・キュウリ・プチトマトのスティック・フルーツポンチ・現地ヨーグルト・麦茶・ジュース・バナナ（針替氏提供）





大濱良友君

50年前スカウトの集会后、七公(百塚 OB のお父さんの中華料理店)でラーメンを食べながら集会の反省会をしていた仲間がまた一人減りました。寂しい限りです。カッチンと呼ばれていた大濱君は生え抜きの4団のスカウトでした。カブ隊のときは杉原団隊長(現団委員長)、BSは飯田隊長(OB・故人)、SS安積隊長(OB)RS今田隊長(OB・故人)の元でスカウト活動をしていました。

BSの集会は教会の鐘楼の中の部屋で、班集会はまた階段を上り塔の一番上の四隅を利用して行っていた時代です。

シニア隊・ローバー隊を4団に作る時もカッチンは積極的に協力してくれて、日本にSS・RSが未だ他の隊に出来ていなかったのが、今田隊長にアメリカのハンドブックを借りて訳し、日本流に直して活動をしました。

オーバーナイトハイイクで御岳山、オーバーナイトサイクリングで葉山と頑張ってくれたし、レンジャーのオーバーナイトの護衛・デンチーフのお手伝い。古矢OBの志賀高原別荘でのスキー訓練、カッチンの軽井沢の別荘で過ごしたグリーンバー会議、キャンプのとき、ママシを取って食べた話。など色々思い出を一緒に作りました。

また、私は私生活においても大変お世話になりました。

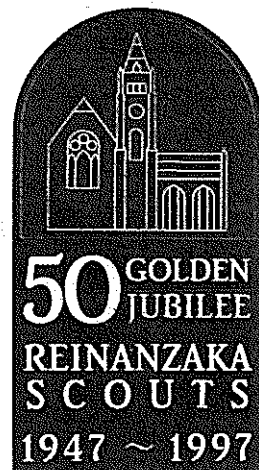


左から2人目

40年前、私がニューヨーク赴任の時、セントラルパーク横の彼の下宿に2ヶ月居候をして、地下鉄の乗り方から、NYの生活の基本を一から教えてもらいました。彼はFIT(アメリカ最高の美術大学)で学ぶ苦学生で、当時は1ドルが360円、外貨の持ち出し枠720ドルで誰でもが渡米できる時代ではありませんでした。卒業後有名なアメリカの化粧品メーカーに就職し、優秀なパッケージデザイナーとして米国の有名なデザイン賞を取るほど活躍しました。性格は私と違い好戦的でなく、おっとりとして、もの静かで、いかにも良家のお坊ちゃま、を実践していました。同じ飯盒の飯を食べ、同じテントで寝て、同じママシを分けて食べ、同じ下宿で生活をして、同じ胃癌の手術をしたカッチンともう話が出来ないのが寂しくて、残念です。



大濱君がデザインしたシール



50周年記念誌の表紙デザイン

我々が今でも使っている、教会をモチーフにしたロゴマークはシンプルで彼らしいデザインです。永遠に4団のシンボルとして光り輝くでしょう。カッチン!本当に色々お世話になり又協力してくれて有難うございました。どうぞ、天国で今やん(今田OB)とボス(小林OB故人)とでキャンプの思い出話をして下さい。ご冥福をお祈りいたします。

Coffee House

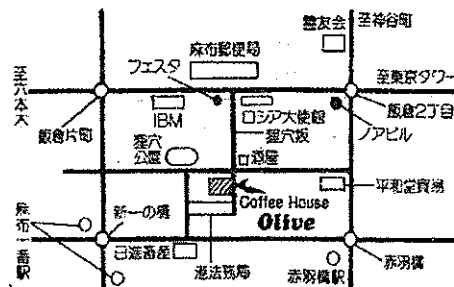
Olive

お気軽に、お立ち寄りください

カブ隊
小野俊夫隊長の店です

東京都港区東麻布 2-11-3
TEL&FAX : 03-3582-4994

営業時間 8:00~22:00
土・日・祝休





4 団から高木茉由子と山口真由は日本連盟の代表として、5月20日、UNHCRでサイクロン被害に遭ったミャンマーの人たちへの支援金を送りました。

私たちと同じような子供たちが、サイクロンで犠牲になっているということを知り、少しでも役に立ちたいと思い参加しました。

サイクロンによって、たくさんの人々、子供たちが家をなくし、家族も失い、今も大勢の人たちが苦しんでいるということを、UNHCRの滝沢代表からうかがい、ミャンマーの人たちの現状がよく分かりました。

家もなく、家族もいない人たちが、たくさんいるということを思うと、ぜひ支援金で困っている人たちを助けてあげたいという気持ちが強くなりました。

支援金で、道路を整備したり、学校を建てたり、集団生活ができるような家を建てたりすることが必要だ

と思います。
このことにより、被害に遭った子供たちの心のケアに、つながるとよいと思います。

今回、この企画に参加して私たちは、とても身近なところで、人のために役に立つことができることが分かりました。

一人ひとりの善意は小さくても、皆の気持ちがあわされば、とても大きな力になることが分かりました。
ミャンマーの皆が一日も早く元の生活に戻れるよう祈っています。

チャリティーコンサート

昨年の「マイク眞木コンサート」に続き、今年スピバコフ財団の少年によるコンサートを開催します。

バラライカとバヤンのタペ

日時：2008年11月22日(土)

18時開場 18時30分開演

会場：霊南坂教会 礼拝堂

チャリティー券 3000円

主催：AJ-SEP (アフガニスタン・日本スカウト交流プロジェクト)

この収益はアフガニスタンのスカウト活動復興を支援するために使われます。

お申込みはFAXで03-3439-3154

コンサート係りまで

(パンフレットは教会玄関スタンドにあります)

10月25日(土)：教会バザー

12月13日(土)：合同スカウトクリスマス

12月24日(水)：教会キャンドルサービス

2009年1月10日(土)：ピースバック作成

1月17日(土)：合同お餅つき

2月22日(日)：スカウトサンデー・愛餐会

年一回の“おたのしみ食事会”



現スカウト達への支援のためにスカウト会員として登録しているアダルト(現SCAPP)たち、保護者としての役目は終えたけど、でも活動に関わりたい、役に立ちたい、etc、手芸の会、バザーでは製作品を作り販売、そして、1400本の焼鳥・・・もう30年以上も焼いていますからベテラン???

今年は4月19日明治記念館で中華料理で舌づつみ・・・15人が集まり和やかな一時でした。(矢澤宏子)

編集後記

合同キャンプでは佐原牧師も終日参加され礼拝を守り、霊南坂スカウトらしい集会でした。

スカウトクラブでは日帰りバスで夕食サービスに参加しましたが出席数が少なく、リーダーの皆様の応援を頂きました。「やるからにはスカウト達が驚くようなことを」と考え、本格的シェフの衣装と帽子を揃え、食べ物もたっぷり用意して、我々も楽しみました。当会報への情報をお待ちしています。

eメール: stp@nifty.com

FAX: 044-281-7042 田中新二まで
お願い致します。

どんしん SHOT BAR

DON'T THINK, FEEL,

お一人でも気軽に
お立ちください
詳しくは、電話かホームページで

<http://www.donshin.jp>

日曜定休

PM 6:00~

目黒区祐天寺 1-22-2 2F

03-5725-1788

OB 大槻将嗣 の店です

